

## 令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立相浦西小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 47-6610			氏名	森亮太郎
1 年間の実施内容(取組状況・実績等)					
4月	実施テーマ	「不祥事の根絶」 「わいせつの根絶」			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>校長のリーダーシップのもと、指導を徹底したことにより、一人一人の法令遵守の意識が高まり、不祥事根絶に向けて一丸となって取り組む雰囲気をつくることができた。</li> <li>体罰根絶を重点的に取り組んでいくなど、本年度の方向性について確認することができた。</li> <li>わいせつ行為等防止のための自己分析チェックシートを活用することで、自己の内面を見つめるきっかけとなり、職員の意識が高まった。</li> </ul>					
11月	実施テーマ	「飲酒運転の根絶」 「体罰・不適切な指導の根絶」			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容について全職員で共通理解を図り、実践することができた。</li> <li>不祥事案を確認し、「飲酒運転をしない・させない・許さない」という意識を強くもつなど「服務事故根絶」の思いをさらに高めることができた。</li> <li>相浦警察署より外部講師をお招きし、不祥事根絶への気構え、対応の方法について講話をいただき、意識の向上が図られた。</li> <li>「自分たちにも起こりうる問題」としてとらえることで、日頃からお互いに声を掛け合ったり、助け合ったりする雰囲気が高まった。</li> </ul>					
12月	実施テーマ	「働きやすい・働きがいのある職場の構築」 「ハラスメントの根絶」			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>服務規律委員会の主導により、自分たちの働き方や職員室の在り方を見つめなおすグループワークに取り組むことで、当事者意識を高めることができた。</li> <li>セルフチェックを行ったり、働きやすい職場づくりのための注意すべき言動等についてグループで討議したりしたことで、日々の生活を振り返ることができた。</li> <li>研修の中で職場への所属感や職員同士の連帯感を高めることができた。</li> <li>職員による学校評価の「働きやすい・働きがいのある職場」に関する項目において、評価が高く、やりがいをもって職務にあたっていることがうかがえた。</li> </ul>					
2 服務規律委員会					
委員会名	相浦西小学校服務規律委員会				
構成員	所属内委員(8名)、外部委員(4名 役職等:育友会会長・学校評議員)				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

ア	イ	オ	カ	キ	ク				
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。  
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="radio"/> (○) できた	<input type="checkbox"/> ( ) 概ねできた	<input type="checkbox"/> ( ) 少し不十分	<input type="checkbox"/> ( ) できなかった
-------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> (○) できた	<input type="checkbox"/> ( ) 概ねできた	<input type="checkbox"/> ( ) 少し不十分	<input type="checkbox"/> ( ) できなかった
-------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="radio"/> (○) できた	<input type="checkbox"/> ( ) 概ねできた	<input type="checkbox"/> ( ) 不十分だった	<input type="checkbox"/> ( ) 実施していない
-------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

資料添付 有 ・  (無)

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

- ア 運営の工夫
  - ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。
- イ 具体的な事例の紹介
  - ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。
- ウ 外部講師を招いての講話
- エ 体験的な研修
  - ・ロールプレイを取り入れる。
- オ グループ討議
  - ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
  - ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。
- カ ワークシートの作成
  - ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。
- キ チェックリストを作成
  - ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。
- ク ファイリングして保存
  - ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。
- ケ 決意表明
  - ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。
- コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組
  - ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。